

福祉サービス第三者評価結果報告書(公表用)

【受審事業所情報】

事業所名称	安井保育園・安井さくら保育園
運営法人名称	社会福祉法人 甲山福祉センター
福祉サービスの種別	保育所
代表者氏名	理事長 笠島慶樹 園長 大山まき
定員(利用人数)	140名 (166名)
事業所所在地	662-0045 兵庫県西宮市安井町4番15号
電話番号	(0798)34-6677
FAX番号	(0798)34-0037
ホームページアドレス	http://www18.ocn.ne.jp/~yasui419
電子メールアドレス	yasuihoikuen@almond.ocn.ne.jp

【評価機関情報】

第三者評価機関名	財団法人大阪保育運動センター福祉サービス評価事業室	
大阪府認証番号	270042	
評価実施期間	平成20年8月1日～平成21年2月9日	
評価結果決定年月日	平成21年2月9日	
評価調査者氏名(役割)	第0701C0040号	(運営管理者・専門職員)
	第0701C0035号	(専門職員)
	第0701C0018号	(専門職員)
	第0701C0025号	(運営管理者)

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
---------------------	--

第三者評価結果の概要

評価機関総合コメント

安井保育園も安井さくら保育園も駅から近く、閑静な住宅街にあります。公立保育所から、高齢者や障害者、児童養護などさまざまな福祉施設を運営する社会福祉法人へ運営が移管されて5年が経過しました。保育園としての5年の実績が保護者の信頼を高めてきていることが訪問調査の中でも感じられ、経営母体が大規模で数多くの福祉施設と医師・臨床心理士・看護師・栄養士・介護士など多岐にわたる専門職を持つ法人の利点が、子どもたちの保育の交流や職員研修にも生かされています。

両園とも「運営の民間移管」という、「施設設備の改善も法人の意向だけではできない」「民間移管という行政行為への保護者の反発」「全ての職員が入れ替わる移管直後の職員と子どもとの関係」など、新設園とは異なる困難性を持っています。しかし5年の歳月と「仕事は厳しいけれど働き甲斐があり楽しい」と語る職員のひたむきな努力と明るさが、子どもと保護者からの信頼をつくりだし、移管という困難を乗り越えてきた努力が保育の質を担保しています。さらにそれらの力が新たな保育園づくりへと高めることのできる段階に来ていることが、保護者アンケートでも、訪問時の保育観察でもわかりました。

保育者の保育力量は高く、一人ひとりの子どもをしっかりと捉え、優しい声かけや自然な働きかけで子どもの遊びを発展させ、保育者間の連携なども子どもの様子で必要なところに違和感なく自然に援助に入る姿など、高く評価できる場面に訪問調査者も数多く遭遇しました。

この保育者の高い専門性と実践力、その職員に信頼を寄せ保育園の発展を願っている保護者の熱意、そして大規模法人の総合力を発揮すれば、両園ともいっそう地域に役立つ施設になることが期待できます。

特に評価の高い点

特に評価の高い点は保育内容と保護者の信頼の厚さです。早朝の登園の時間帯、午前の設定された保育、夕方の保育観察及び、職員との面談を通じて、保育士、栄養士いずれの職種においても子どもたちへの愛情と仕事に対する熱意を感じる事が出来ました。

保育の場面においてはどのクラスの保育士も子どもたちへの声かけが優しく丁寧であり、決して大きな声を出すことなく、間の取り方も働きかけも適切でした。評価調査者が同行した散歩などでも、スローペースの子がいても、その子の気持ちや「つもり」を大切にしながら待っていました。しかし要所要所ではクラスの子どもが全員揃って友だちを意識する場面がつくられていました。自然の中で身体を思い切り動かすこと、発見や感動をみんなで共有する場面がたくさんあり、一人ひとりが集団の中で大切にされている様子が見られました。

安全への配慮を含めて保育士間の連携がスムーズで、このような関係は、園として積み重ねてきた力の現れだと考えます。保護者からの保育と職員に対する信頼の厚さは「わが子が大事にされている」と実感できる保育が原点になっていると思われまます。

改善を求められる点

安井さくら保育園を「いずれ解消」の分園でなく、継続が条件の独立園として、プレハブ園舎を建て替えることが、今、最も改善を求められる点です。入園に際し、園舎を見て第1希望から外していた保護者が、入園し在園することによって高い信頼を寄せるようになってきていることから、いかに地域にとって存続する価値が高い保育園であることがわかります。

待機児童が多い西宮市にあって「駅から近い利便性、保育の質の高さ、一定の敷地の広さ」など、保育園が備える条件としても評価の高い安井さくら保育園を外見と内部を若干補修してプレハブのまま放置することは、法人にとっても行政にとっても大きな損失ではないでしょうか。

分園を周りの住宅街にもマッチし、地域が求める新たな機能も備える園舎に建て替え、さらに本園も計画的に改修・改築することによって、待機児童解消にも、新たな子育て支援にも、街の発展にも大きく貢献することができます。英知を集めて実現されることを期待します。

保護者アンケートには園に信頼を寄せつつ、職員の労働条件や園の経営なども心配している意見がありました。内実を正確に説明し、保護者に依拠して保育園の発展と充実につないでください。

第三者評価に対する事業者のコメント

公立から民間移管されて5年が経過しました。移管当初は子どもたちがこのまま健やかに成長する環境が維持されるのか、日常の保育が具体的にどんなふうになるのか・子どもたちや保護者の不安な思いをあげればきりがありませんでした。私たちはどんな小さな不安、疑問にも答えていこうと、保護者会と、法人と、保育園の三者での懇談を行い、保護者会からの要望を聞き、可能なかぎり実現に向けて努力してきました。

1年経過後は保育園と、保護者会の二者で、学期毎に懇談を持ち話し合いを続けてきました。保護者の要望や気持ちを大切に、公立保育所の保育内容を出来る限り引き継ぎ、行事などは保護者が参加できるように、土曜日に行い、保育内容が伝わるように努力してきました。当初は保護者との関係はかなり難しいものがありましたが、3年目に入る頃から、保育園と保育士への信頼が少しずつ築かれてきました。この年、保護者が「自分たちの保育園は自分たちできれいにしよう」と年2回の保護者会主催の大掃除会がはじまりました。現在、運動会、餅つき会等主な行事は保護者の積極的な関わりのなかで開催しています。やっと子どもたちをまん中に、保育園と保護者が密接に連携し、成長を保障していくという保育園があるべき姿に落ち着きました。

今回の第三者評価の受審は、私たちの今までの方針と実践を振り返る意味でも、また保育士と保護者の関係をより良く築いていく上でもとても有意義なことでした。外部機関によって、客観的に、細部にわたり、審査して頂き、過去の取り組みが、整理され、評価点、改善点として明らかにされたことは、今後の励みとなり、力となります。

今後は職員一同「子どもの最善の利益」を保障するため、日々、保育の質の向上にむけてより一層努力します。同時に法人内の、他施設との連携をさらに強めつつ、地域の中で益々、必要とされる保育園づくりをめざしていきます。そのことが、地域全体の子どもたち、高齢者、障害者がいきいきと安心して暮らせる街づくりに繋がると確信しました。

評価細目の第三者評価結果

児童福祉分野の評価基準

判 断 基 準 項 目	評価結果												
評価対象 福祉サービスの基本方針と組織													
<p>- 1 理念・基本方針</p> <table border="1" data-bbox="172 528 1497 927"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="172 528 1305 595">- 1 -(1) 理念、基本方針が確立されている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 595 1305 663">- 1 -(1)- 理念が明文化されている。</td> <td data-bbox="1305 595 1497 663">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 663 1305 730">- 1 -(1)- 理念に基づく基本方針が明文化されている。</td> <td data-bbox="1305 663 1497 730">a</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="172 730 1305 797">- 1 -(2) 理念や基本方針が周知されている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 797 1305 864">- 1 -(2)- 理念や基本方針が職員に周知されている。</td> <td data-bbox="1305 797 1497 864">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 864 1305 927">- 1 -(2)- 理念や基本方針が利用者等に周知されている。</td> <td data-bbox="1305 864 1497 927">a</td> </tr> </table>		- 1 -(1) 理念、基本方針が確立されている。		- 1 -(1)- 理念が明文化されている。	a	- 1 -(1)- 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	- 1 -(2) 理念や基本方針が周知されている。		- 1 -(2)- 理念や基本方針が職員に周知されている。	a	- 1 -(2)- 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a
- 1 -(1) 理念、基本方針が確立されている。													
- 1 -(1)- 理念が明文化されている。	a												
- 1 -(1)- 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a												
- 1 -(2) 理念や基本方針が周知されている。													
- 1 -(2)- 理念や基本方針が職員に周知されている。	a												
- 1 -(2)- 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a												
評価機関コメント													
<p>保育理念や基本方針は明文化されておりホームページでも公表されて、パンフレットにも明記されています。保護者や一般の方に理解しやすい内容になっており、保護者アンケートのなかでも、「保育の理念や方針について保育園から説明がありましたか」の質問にたいして「口頭と書面で説明がありました」「冊子による配布がありました」などの回答がよせられています。研修を通じて職員にも周知し保育内容に反映する努力もされています。職員集団で一層深め合う事を期待します。</p>													
<p>- 2 計画の策定</p> <table border="1" data-bbox="172 1352 1497 1751"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="172 1352 1305 1420">- 2 -(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 1420 1305 1487">- 2 -(1)- 中・長期計画が策定されている。</td> <td data-bbox="1305 1420 1497 1487">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 1487 1305 1554">- 2 -(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。</td> <td data-bbox="1305 1487 1497 1554">a</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="172 1554 1305 1621">- 2 -(2) 計画が適切に策定されている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 1621 1305 1688">- 2 -(2)- 計画の策定が組織的に行われている。</td> <td data-bbox="1305 1621 1497 1688">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="212 1688 1305 1751">- 2 -(2)- 計画が職員や利用者に周知されている。</td> <td data-bbox="1305 1688 1497 1751">b</td> </tr> </table>		- 2 -(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		- 2 -(1)- 中・長期計画が策定されている。	a	- 2 -(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a	- 2 -(2) 計画が適切に策定されている。		- 2 -(2)- 計画の策定が組織的に行われている。	a	- 2 -(2)- 計画が職員や利用者に周知されている。	b
- 2 -(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。													
- 2 -(1)- 中・長期計画が策定されている。	a												
- 2 -(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a												
- 2 -(2) 計画が適切に策定されている。													
- 2 -(2)- 計画の策定が組織的に行われている。	a												
- 2 -(2)- 計画が職員や利用者に周知されている。	b												
評価機関コメント													
<p>中長期計画やビジョンにもとづいて、保育内容の総括をおこない、職員で見直しをし法人理事会で検討されています。分園の建て替えや独立園化の実現、及び本園の施設改善に向けても、大規模法人の利点を活かして理事会で明確な方針と計画を確立し、職員や利用者の期待と積極性にも依拠して共感し合って着実に実現される事を期待します。</p>													

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

- 3 -(1) 管理者の責任が明確にされている。

- 3 -(1)-	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	b
- 3 -(1)-	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a

- 3 -(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

- 3 -(2)-	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a
- 3 -(2)-	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	b

評価機関コメント

園長が管理者として、その役割にそって自分の考えをたえず職員に伝える努力をしていることは、それを受け止め実際に保育している職員の姿勢からも伺えます。役割分担・勤務体系・保育の体系・清掃分担・管理分担なども明文化されています。職員はそれぞれの役割をしっかりと認識し保育の中にいかされています。

園長は保育園の要です。「保護者が安心して子どもを預けられ、子どもも安心して落ち着いて保育を受けることのできる保育をつくっている」職員集団にいっそう信頼をよせ、職員と保護者に依拠して園運営をはかってください。今後園長としての経験を積まれることで、その役割が充実し、管理者としてのリーダーシップをいっそう発揮されることと期待します。

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

- 1 -(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。

- 1 -(1)-	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
- 1 -(1)-	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a
- 1 -(1)-	外部監査が実施されている。	a

評価機関コメント

外部監査が実施されており、規模の大きな法人の利点を生かして、理事会や評議員会などで、全体状況を把握しながら、集団で英知を集める努力をしていることが議事録などからも感じられます。今後保育園の独自性を経営状況に反映させ、看護師などの専門職配置などにも努力され、社会環境の変化に見合った地域の子育て支援などの対応をいっそう充実されるよう期待します。

- 2 人材の確保・養成

- 2 -(1) 人事管理の体制が整備されている。

- 2 -(1)-	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
- 2 -(1)-	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b

- 2 -(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

- 2 -(2)-	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
- 2 -(2)-	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a

- 2 -(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

- 2 -(3)-	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
- 2 -(3)-	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a
- 2 -(3)-	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a

- 2 -(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。

- 2 -(4)-	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
- 2 -(4)-	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a

評価機関コメント

職員の給与等における公私間格差是正のために市が民間保育園に出していた補助金が削減され、そのことによる給与面での困難さが増しているようです。しかし一方で法人としては職員研修（保育内容・方法・実践など）を、職員の関心にそって丁寧に実施するなど、職員の意欲を高める努力をし、職員の主体性に依拠して人材の確保や養成も行っていることが、研修実績や内容からも伺えました。実習生の受け入れについてもマニュアルもあり、実習依頼者、実習者、受け入れ園ともに効果のある取り組みになるよう、受け入れ職員の協力体制がとられていました。

- 3 安全管理

- 3 -(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。

- 3 -(1)-	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
-----------	---	---

- 3 -(1)-	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a
-----------	-------------------------------	---

評価機関コメント

保護者（利用者）との連携を密にし、適切な対応をとるために、日常における職員間の連携を絶えず職員が身につける努力をしていることが観察できました。職員会議やケース会議などでも絶えず、リスクについて出し合い共有化する努力がされ、気づいた事はすぐ実行する職員の実践力の高さは評価できます。この積極性と実践力を生かしてさらに施設設備や環境整備においても、いっそうの安全確保の充実に取り組まれることを期待します。

- 4 地域との交流と連携

- 4 -(1) 地域との関係が適切に確保されている。

- 4 -(1)-	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
-----------	-----------------------	---

- 4 -(1)-	事業所が有する機能を地域に還元している。	a
-----------	----------------------	---

- 4 -(1)-	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
-----------	-----------------------------------	---

- 4 -(2) 関係機関との連携が確保されている。

- 4 -(2)-	必要な社会資源を明確にしている。	a
-----------	------------------	---

- 4 -(2)-	関係機関等との連携が適切に行われている。	a
-----------	----------------------	---

- 4 -(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。

- 4 -(3)-	地域の福祉ニーズを把握している。	a
-----------	------------------	---

- 4 -(3)-	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a
-----------	---------------------------	---

評価機関コメント

両園とも、園の成り立ちや経過（分園は震災の仮設がそのまま活用されているため保育園と思えないような外観や、本園も公立から民間に移管したことなど）から、地域との連携はいっそう重要なものとなっています。しかしその困難と思える状況を前向きにとらえて、職員が絶えず地域との関係づくりや連携に努力していることが伺えます。同時に法人も職員も自ら今後いっそう地域の要望に応えていく強い姿勢を持っており、西宮市の保・幼・小の連携など地域における連携重視の取り組みともあいまって、子どもから高齢者まで広くまちづくりの観点でも両保育園の存在が今後の地域の発展に役立つと期待できます。

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス		
- 1 -(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
- 1 -(1)-	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a
- 1 -(1)-	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
- 1 -(2) 利用者満足の上昇に努めている。		
- 1 -(2)-	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	a
- 1 -(2)-	利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	a
- 1 -(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
- 1 -(3)-	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
- 1 -(3)-	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
- 1 -(3)-	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	b

評価機関コメント

年に2度保護者会のアンケートに即して園の考え方を文書で返し、その内容に基づいて保護者会と意見交換会が行われています。その結果については保護者会によって、全世帯に配布されています。行事についてはその都度にアンケートをとり、保護者の意見が反映するように努めておられます。年に2回個人懇談会も実施されていて、内容もきちんと記録され、必要なことは見直し、改善につながるよう取り組みがされていることは高く評価できます。さらに保護者の疑問などへの説明は迅速に行い、相互の関係づくりにいっそう努力され、利用者本位のサービス充実に努めてください。

- 2 サービスの質の確保		
- 2 -(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
- 2 -(1)-	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	b
- 2 -(1)-	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
- 2 -(1)-	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a
- 2 -(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
- 2 -(2)-	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
- 2 -(2)-	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
- 2 -(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
- 2 -(3)-	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
- 2 -(3)-	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
- 2 -(3)-	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

評価機関コメント

毎月一回の職員会議やクラス会議が開かれ、毎月の振り返りが翌月の保育に活かされています。とりわけ3歳未満児クラスの子どもの様子は発達の到達や課題が毎月、丁寧にまとめられています。職員の研修にも積極的に取りくまれており、職員一人ひとりの課題を明確にし、研修にも職員が主体的に参加している様子が報告書にも表れており、職員の中での共有化も図られています。各クラスの保育環境づくりに積極的に取り組まれ、手作りおもちゃや木のおもちゃが子ども達の手の届く所に用意されていました。

気づいたことはすぐ改善する職員の姿勢がサービスの質の確保にも繋がっていると観察の中で実感できました。

- 3 サービスの開始・継続

- 3 -(1) サービス提供の開始が適切に行われている。

- 3 -(1)-	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
-----------	-------------------------------	---

- 3 -(1)-	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
-----------	-----------------------------	---

- 3 -(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。

- 3 -(2)-	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
-----------	---	---

評価機関コメント

利用を希望する人に対しては、ホームページや入園のしおりなどで、情報提供されています。保護者アンケートの記述から判断すると、見学に際してはいつでも一定の対応が出来るような基準を設けて、見学の時間や職員によってバラツキがないようにすることが求められています。今後いっそうの努力を期待します。転園や入学などに際しては必要があればプライバシーに配慮しながら情報を適切に提供している様子がうかがえました。又、卒園した家庭には行事の度に案内などを送り、積極的につながりをつくる努力をし、いつでも気軽に相談に立ち寄れる関係をつくっていることが職員への聞き取りの中からも伝わってきました。

- 4 サービス実施計画の策定

- 4 -(1) 利用者のアセスメントが行われている。

- 4 -(1)-	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
-----------	--------------------------	---

- 4 -(1)-	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
-----------	----------------------------	---

- 4 -(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。

- 4 -(2)-	サービス実施計画を適切に策定している。	a
-----------	---------------------	---

- 4 -(2)-	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a
-----------	----------------------------	---

評価機関コメント

入園に際しては保護者から、市が定めた細かい健康調査票に記入してもらい、嘱託医による健康診断と園の職員による面接を行っています。クラス会議や職員会議を定期的実施し、指導計画の適切な見直しが行われていることは会議録でも確認できました。健康診断は内科、歯科、耳鼻科、眼科検診が実施され、結果が保護者に知らされるとともに、記録され管理されています。アレルギーや障害をもつ子どもたちも主治医や専門機関との連携をとりながら、健康状態や生活状況に基づいた個々のサービス実施計画の評価や見直しがされています。このようなきめ細かい取り組みは保護者の安心にもつながっており評価できます。

児童福祉分野【保育所】のサービス内容基準(付加基準)

判断基準項目		評価結果
A-1 子どもの発達援助		
1-(1) 発達援助の基本		
A-1-(1)-	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a
A-1-(1)-	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
1-(2) 健康管理・食事		
A-1-(2)-	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
A-1-(2)-	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-1-(2)-	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-1-(2)-	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
A-1-(2)-	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-1-(2)-	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
A-1-(2)-	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-1-(2)-	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
1-(3) 保育環境		
A-1-(3)-	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
A-1-(3)-	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	b
1-(4) 保育内容		
A-1-(4)-	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
A-1-(4)-	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
A-1-(4)-	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a
A-1-(4)-	身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	a
A-1-(4)-	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a
A-1-(4)-	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
A-1-(4)-	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
A-1-(4)-	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
A-1-(4)-	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-1-(4)-	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-1-(4)-	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a

評価機関コメント

指導計画や記録はていねいに書かれていて読みやすいものになっています。発熱やケガをしたときには、園長・主任の判断のもと、柔軟かつ丁寧に対応がされていることは観察でもわかりました。感染症については毎月市内情報が届けられ、発生時に保護者に掲示などで通知されています。

食べものに関心を持つ言葉かけや栽培やクッキングが取り組まれ、その様子は写真などで保護者へも伝えられています。給食は調理を業務委託されていますが、給食委員会が設置され、日常的に保育士と法人雇用の栄養士が連携しあって、調理員といっしょに給食をつくっていく立場で進められています。保育参観で試食会をもち、保護者にも好評だとのこと。一時保育の保護者を対象におやつ

の試食会にも取り組む予定になっているなど「食育」への意欲的な取り組みが伺えました。保育環境ではコーナーの設置の仕方によってよりいっそう生活空間の充実もはかれると思われるのでさらに工夫を期待します。分園は施設の困難な条件の中でも最大限子どもが落ち着けるよう工夫している努力が伺えました。

子ども達の気持ちに寄り添った保育をすすめておられ、危険を避けるときも、大きな声を張り上げたり、命令調な言葉や否定的な言葉を使わず、さりげない言葉かけがされ、けんかも子どもの気持ちを聞いて方向付けなどをしていて、保育者間の連携も自然に出来ているのがみてとれました。子ども達もおだやかで、大人に対して安心している関係が作られているのが伺えます。朝夕の保育についても落ち着いた雰囲気があり、保護者と泣き別れする子どもへの対応も優しくうけとめ、子どもも自然な流れで立ち直っていました。

障害児保育については法人内の施設と年間を通じて交流がもたれ、相談し合える関係があることなどはこの法人の特色が活かされていて高く評価できます。臨床心理士、医師（小児神経科）との連携のいっそうの充実を期待します。

本園、分園、それぞれに独立した保育が進められていますが、交流の機会をさらにつくることで、子どもと保護者の交流だけでなく、保育実践の交流にも役立つと今後期待します。

A-2 子育て支援

2-(1) 入所児童の保護者の育児支援

A-2-(1)-	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
A-2-(1)-	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
A-2-(1)-	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
A-2-(1)-	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
A-2-(1)-	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a

2-(2) 一時保育

A-2-(2)-	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a
----------	---	---

評価機関コメント

保護者と送迎の際に積極的に話し、連絡帳を活用し保護者の悩みに答え、共感しあって保育をしようという姿勢がみられます。保護者と共感しあうことが保育の喜びにもなっているようです。幼児クラスについても個人の連絡帳に変わるものとして園のノートに記載する毎日の様子をコピーして各個人に渡し、保護者も書き込めるものをつくり努力されています。保護者の保育参加も行われており、ちょうど訪問観察時に保護者も楽しんで参加している場面に遭遇しました。

虐待の対応マニュアルもあり、地域の児童委員との連絡や保健師との連携などすぐとれるようになっています。

一時保育は決まった職員で運営されており、嘱託職員であっても職員会議に参加するなど努力されています。待機児童が多いため、一時保育は利用者が昨年330人から今年半期で670人と2倍にも増えていることから、場所と職員を確保し地域の要求に応じて努力していることが伺えました。保育も通常保育の子ども達と交流し、子ども達も安定した状態で保育を受けていることが保育観察の中でも感じとることができました。

A - 3 安全・事故防止

3 -(1) 安全・事故防止

A - 3 -(1)-	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a
A - 3 -(1)-	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a
A - 3 -(1)-	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a
A - 3 -(1)-	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a
A - 3 -(1)-	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a

評価機関コメント

衛生管理や食中毒の防止は西宮市のマニュアルはきちりしており、栄養士の気配りやめくばりも行き届いていることが伺えます。本園と分園に分かれていることや、給食の調理業務が委託されていることもありますが、委託業者まかせでなく、法人職員の栄養士による指導のもとに行われていることは評価できます。

事故防止のチェックや記録は定期的に行われています。またケガなど事故が発生した時は、原因を明らかにし、原因を取り除くなど対策がとられています。両園ともにモニターが設置されています。

子どもや保護者の出入りを職員がいっそう把握しやすいように、出入り口や部屋の配置替えなど工夫され、安全や事故防止がさらに充実できるよう期待します。

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	本園、分園の保護者
調査対象者数	146所帯
調査方法	保育園からアンケート用紙を配布してもらい、回答は評価機関へ直接返送。

利用者(保護者)への聞き取り等の結果(概要)

- 1、回収状況は146所帯から67所帯の回答があり、しかもそのうち、43所帯が自由記述に園の評価を書き込んでおり、その内容からも保護者の保育園への信頼度は大変高いと思われます。
- 2、設問への回答もほとんどが保育園の方針や保育の実際に対して肯定的なものでした。また職員への感謝の言葉が随所にみられ、職員の努力が保護者に良く伝わっていると感じられました。
- 3、法人へ委託されて5年が経過していますが、「民営化を知っている」と答えた保護者が回答者の82%ありました。

しかもその回答者のほとんどが「民営化したことによる職員の労働条件や身分保障の不安定化」を心配している記述でした。それは保護者として知りえたことだけでなく、住民が一般情報として知りえている状況にあることも保護者の回答内容から察知できました。

特に保護者の不満は民営化された後に、それまで市が民間保育園に出していた公私間格差是正のための助成金を削減したため、職員の賃金が下がったことに対する行政への不満が圧倒的でした。また回答者全体の3分の1にあたる22人が「民営化は条件や身分保障で問題あり」と答えているのも民営化後に民間保育所への公的助成が減ったことが保護者の不安を大きくしているのがわかりました。

同時に多くの回答者が「だけど先生たちはよくがんばってくれているので気の毒」と職員には厚い信頼を寄せていました。

- 4、園として若干、保護者への説明不足が感じられる点を改善されることと、保護者から出されている意見で、次のような内容についてはぜひ園として保護者の理解を得る努力をされることで、今後いっそう保護者との豊かな関係が築けると期待します。

保育条件や職員の労働条件、さらに職員の異動や退職事情などについて保護者は保育園に信頼を寄せつつ心配をしている。

保育目標や方法などの具体的内容(例えば給食のレシピや歌、絵本など)を具体的に知りたいと希望している保護者もいる。

子ども同士でケガを「したとき」や「させたとき」の保護者間の関係について、園としての対応。

プレハブ園舎や老朽化した施設設備の改善。